

祝 成人のつどい



新成人としての決意を持って

8月14日、乙部町民会館で成人のつどいが開催され、35人が出席しました。式では、新成人を代表して三上祥人さんと麓和貴子さんが「新成人としての自覚を高め、強い意志と決意を持って人生を切り拓いていきたいです。」と誓いの言葉を述べました。

災害は 忘れた頃にやってくる

9月1日は防災の日

平成5年7月に発生した北海道南西沖地震で倒壊した国保病院の煙突

防災の日は一九二三（大正十二）年のこの日に起きた関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風への心構えの意味を含めて一九六〇（昭和三十五）年に制定されたものです。

これをきっかけに、今一度、防災について考えてみましょうというところで、今月は防災特集です。町の防災への施策と過去の災害を振り返ってみたいと思います。

町や住民の防災への取り組みは

昨年三月十一日の東日本大震災以降、各自治会町内会でも広報などでそれぞれに注意を喚起するなど、地域住民の防災に対する関心が高まったことから、町では平成二十三年度は、海拔表示標識の整備を行いました。

これは、住民が現在住んでいる場所や、普段目に行っている場所の海拔を示すことによって、いざとなった時どのように行動したらいいのかを常日頃から意識してもらおうと整備されたもので、各自治会町内会からの意向を聞きながら町内八十二カ所に設置したものです。

また、今年二月には自治会町内会連合会主催で、防災研修会が行われました。会では、地震発生時の安

全な避難ルートなどを確認する防災マップの作成を試み迅速な避難対策が話し合われました。

避難訓練についても、各小中学校、自治会町内会単位で毎年行われています。

町の今年の防災関連の事業は、避難路及び避難場所整備と防災資機材等備蓄施設を新築します。

避難路は各自治会町内会と協議し、住民からの声があった想定外の大津波に備えて行き止まりの避難路や避難場所の解消と、避難する場合、複数の避難経路も考慮しながら、当初は十七カ所の予定が十九カ所の整備となりました。

防災資機材等備蓄施設は、発電機や投光器、土のうや毛布などの防災資機材が町内の数カ所の施設に分散していることと、保管している施設が耐震性に疑問があるために、一カ所にまとめ、市街地の高台で海拔二十メートルの場所に新築するものです。

いずれも今後順次発注して、今年度中には整備が終わります。

東日本大震災以前の町の施策と言えば、平成五年の北海道南西沖地震を機に整備した防災行政無線があります。

防災行政無線は、平成八年一月一日に開局。全世帯に個別受信機を設

置したほか、町内十九カ所に屋外拡声器を設置していますが、設置してから相当に年数が経過しているのが昨年は役場と消防署の操作卓の更新をしました。

また、昨年六月からは全国瞬時警報システム（Jアラート）の運用も開始されました。これは、国から配信される国民保護情報等を受信して防災行政無線と連動し放送するものです。町では、檜山管内で震度4以上の地震を感じた場合、大津波警報や津波警報が発表された場合、武力攻撃を受けるおそれがある場合など、昼夜を問わず、防災行政無線を通じて自動的にお知らせするようになりました。

同じく南西沖地震の時に水道管が破裂したことを教訓に整備されたのが災害時用水施設「生命の泉」で、町内に五カ所整備されています。

公共用ヘリポートは平成五年四月二十日に開港。南西沖地震の際には、けが人の搬送や、北電、道庁、道警や東京消防庁が離発着を繰り返していました。

町をおそった過去の災害は

記憶に新しいものは、平成五年七月十二日の北海道南西沖地震ではないでしょうか。

この地震では震源地に近い奥尻をはじめ各地に大きな被害をもたらし、死者、行方不明者合わせて二百人以上を出しました。

幸いにも乙部町では人的被害はなかったものの、住宅の全半壊や農林水産業施設、道路等に三十億円を超える大きな被害をもたらしました。

少しさかのぼると、一九六二（昭和三十七）年の豊浜トンネルの山津波事故があります。

当時、仕事の関係でバスに乗っていて生き残った方のひとり（八十歳の男性）に話を聞いたところ、「バスが山津波によって押し流され、中に海水が入ってきて何度か塩水を飲んだ時、苦しくて苦しくて死ぬかと思っただけ、次の瞬間何かのはずみでバスから出ることができ、熊石側に何人かで行った。」ということでした。

当時の新聞を見ると、「函館バスが山津波に飲まれ、死者十一人、行方不明者三人、重軽傷者十四人の大惨事」とあります。

乙部音頭を作曲した菅原憲明さんが昭和四十四年に出版した作品集「楡の木」には「鮪の岬悲歌」という歌がのっています。作詞は鈴木誠さんとなっていて、山津波のことを歌ったものです。説明には「あれから七年過ぎた今も、バスと行方不明者の三人は、海底の泥中深く埋もれたま

まである」と書かれています。

そして、半世紀たった今も、命日には遺族の方々が慰霊碑を訪れます。

今年の十月十七日で事故からちょうど五十年になります。

もつとさかのぼり、聞き伝えられているところによると、寛保の津波があります。

乙部町史下巻第十一編第三章の災害を見ると、今から二百七十一年前の一七四一（寛保元）年七月十九日の大島の噴火による大津波では乙部村の死者は四百十人とあります。



豊浜の海岸線から約1kmの山にある稲倉石

旧暦の七月ですから、今でいえば八月となるでしょう。

当時のことを知る手がかりの中には、山の中腹まで津波で押し上げられたと伝えられている巨石、稲倉石（豊浜）があるほか、津波で浜から流された小船がこの場所を超えてしまったから地名になったといわれる場所の橋のたもとには今も「船越橋」という看板が立っています。

乙部の災害というとこれらを思い浮かべる方も多いと思いますが、その他にも、昭和六十二年八月三十一日から九月一日にかけての台風12号から変わった低気圧による災害や、平成七年八月、平成九年八月、平成十年五月の大雨や集中豪雨による災害、さらに一昨年八月十一日から十二日にかけての大雨は観測地点である潮見で二百三十二・五ミリという観測史上最大の記録的な大雨となり、それぞれに大きな被害がでています。

これらのことを含めて昨年の町民文化祭では、教育委員会特別展示「乙部の災害」として詳しい展示がされていました。

日頃からの備えを

今回は防災の日ということで防災の特集としました。

東日本大震災では、役場すらなく

なっている町もあり、一人ひとりが災害時にどう行動すればいいのかを考えて、備えていくことが必要です。各家庭でも日頃から災害についての心構えを十分に話し合っておき、いざというときに備えたいものです。

防災行政無線を使って全国一斉の緊急情報の伝達試験が行われます。

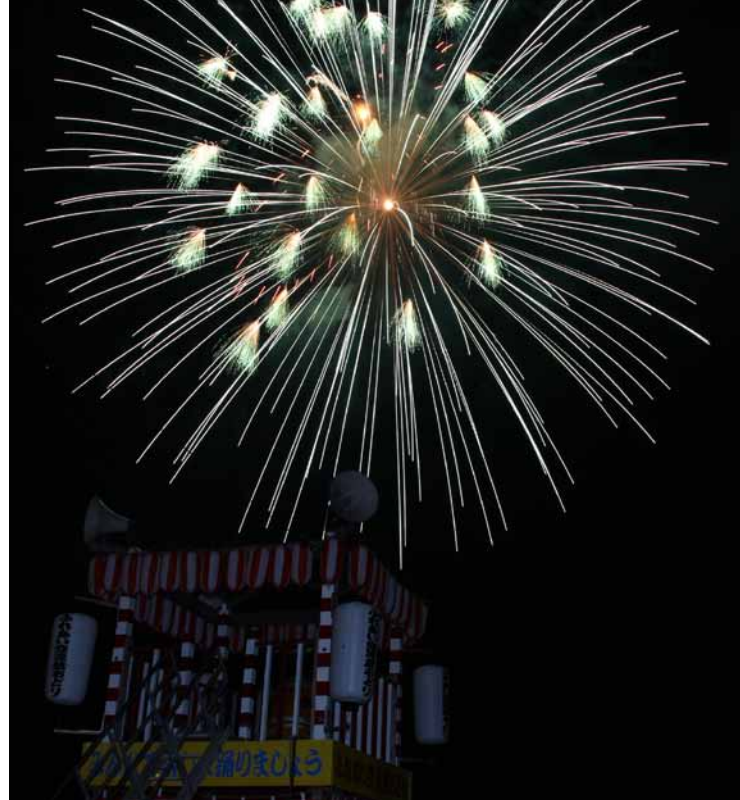
乙部町では、地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（J-アラート）から送られてくる国からの緊急情報を、確実に皆様へ伝えるため、緊急情報伝達手段の試験を行います。

町内19箇所に設置してある屋外拡声器と各家庭に設置してある戸別受信機から、次の放送内容が一斉に放送されます。

日時 9月12日（水）午前10時頃と午前10時30分頃の2回

放送内容 「これは、試験放送です。これは、試験放送です。これは、試験放送です。こちらは防災おとべです。」最後に防災行政無線のチャイムになります。

勢ぞろい



夏はやっぱり海のパーティー...!

元和台マリンフェスティバル

第二十八回元和台マリンフェスティバルが、夏の暑さとなった七月二十九日、元和台海浜公園で開催され、乙部の夏の一大イベントを楽しもうと、町内外から約三千九百人が訪れました。

海のプールは北海道では一カ所だけ環境省の快水浴場百選に選ばれていて、衛生面と安全面は特に評価されていることもあり、夏休みの子ども連れなどで大変にぎわいます。

イベント当日は、スイカ割りや水上ゴザ走り、ビーチフラッグ大会など子どもから大人まで楽しめるゲームが用意され、参加者や観客から大きな歓声があがっていました。

また、海のプールの一番の目玉であるウニ・ツブ・ホタテのつかみ取り体験は、子どもたちが大喜びで両手につかんでいる姿が見られ、日頃なかなかできない体験を楽しんでいました。

最後に行われた景品券入りもちまきは、乙部の特産品が当たると大人気で、会場は黒山の人だかりとなりました。



ダッタン漂流記レース

元和台海のプールまつり

元和台海のプールまつりが、夏休みの子ども達や家族、帰省客らでにぎわう八月十四日、元和台海浜公園海のプールで開催されました。

当日はカラッとしたり、まさに北海道の夏で、来場者は一千人を超えました。

ウニ・ツブ・ホタテの放流を皮切りに、水かさ水早食い大会、ビーチクイーンコンテストが行われ、大きな歓声でにぎわいました。

かき氷の早食いは、足の冷たさと、突然襲われる頭痛とのたたかいで、リタイアする子が続出していました。

また、ビーチクイーンコンテストでは、本州からの帰省客や、函館からよく遊びに来ているという人など十人が参加。水着の紹介やちょっとしたインタビュに続き、審査員への決めのポーズを求められ、笑いを呼んだ参加者もいました。

夏真っ盛りの海のプールで、夏休み終盤の子ども達や、短い夏休みを満喫している大人も、とても楽しんでいました。



ビーチクイーンコンテスト

乙部の夏

ふるさとの夏を彩るイベント



夏どりのえび笑顔で盆おどりー！

おとぐ温泉と産業まつり

第三十九回おとぐ温泉&産業まつりが八月五日、乙部温泉郷で開催され約三千人が訪れました。

千人踊りパレードを皮切りに、ラムネの早飲みや景品券入りもちまき、カラオケ大会などで会場は大いに盛り上がりました。

歌謡ショーで訪れた、歌手の暁月めぐみさんは、平成二年に乙部町で開催されたNHKのど自慢の優勝者で、縁のある町でのステージとなり、会場と一体となった素晴らしいショーとなりました。

また、毎年大人気のイカのつかみ取りでは、子ども達が大はしゃぎでイカを追いかけて、つかんだとたんイカに墨や水をかけられて泣いてしまう子も。

会場に出店した地場産品の特売では、格安で販売された海産物や農産物に列ができていました。

また、いこいの湯、光林荘、ACCホテルが温泉の無料開放を行い、大勢のお客さんが詰めかけていました。



会場を盛り上げた暁月めぐみさん

ふれあい交流盆おどり・花火大会

第二十四回乙部町ふれあい交流盆おどり・花火大会が八月十四日、乙部漁港中央埠頭で開催されました。

イカ釣り漁船が会場を明るく照らす中、山車六台が集まり、会場はお祭ムード一色に。

寺島三姉妹の民謡ショーで北海盆歌や道南ナツト節など、盆おどりの定番曲を披露すると、来場者はやぐらを囲み、二重、三重の輪を作って盆おどりを楽しみました。

間近で迫力のある花火を見ることができると好評の花火大会は、約二千八百発の花火が乙部の夏の夜空を鮮やかに彩り、歓声が起こりました。

町内外の企業や個人からの寄付金などで行われているこのイベントは、帰省された皆さんがもっとも楽しみにしているものの一つではないでしょうか。

会場では「久しぶりだね、元気だった？」などと、再会を喜ぶ声が聞かれ、たくさんの方がふるさとの夏を楽しんでいました。



やぐらを囲んで盆おどり

わが家のアイドル

お父さん＝

水上 敏貴さん

お母さん＝

貴子さん

わたしは

2歳1ヶ月の女の子です。

名前の由来＝

お父さんの好きな咲という字を使い、女の子らしいイメージでつけました。

両親の願い＝

明るく元気な女の子に育って欲しいです。



めいさ
水上 明咲ちゃん
(館 浦)

お父さん＝

森山 祐樹さん

お母さん＝

ひとみさん

わたしは

2歳1ヶ月の女の子です。

名前の由来＝

女の子だったらメイにしようと思っていました。

両親の願い＝

人の気持ちを考え行動できる子に育ってほしいです。



めい
森山 芽依ちゃん
(館 浦)

こんにちは 保健師です

乙部町地域包括支援センターからのお知らせ

夏の帰省にて遠方で暮らしている子供達も久しぶりに実家に帰り、親の元気な様子に安心して帰ったでしょうか。それとも親の老いを感じ、案じながらだったでしょうか。それぞれ感じながらだったと思います。まずは、乙部町の高齢者の状況をまとめました。

(1) 高齢者の人口割合

平成23年度の乙部町の総人口 4,383人
65歳以上高齢者の人口 1,527人(全体の約4割近い)
〇年々割合が増加しています。若い年齢層が減っている事が影響しています。

(2) 高齢者の家族構成

平成22年国勢調査では 高齢者のいる世帯 1,009世帯のうち

一人暮らし 約3割

高齢者のみ世帯 約3割

半数以上が高齢者のみで暮らしています。

(3) 要介護認定を受けている割合

要介護認定を受けている高齢者の割合は約2割です。

そのうち

自宅でのサービスを受けている人の割合 5割

施設に入所している人 3割

認定を受けたが未利用 2割

地域で高齢者を支える・・・

若い働き盛りの人が少なく、高齢者の姿が目立つようになったのは、普段の生活で十分感じている事と思います。介護保険だけで高齢者の生活を支える事は出来ません。地域で声かけ見守り、生活のお手伝いが支

えとなります。でも気持ちがあってもどうしたらよいかわからない方もいると思います。そんな方のために10月から勉強会を3回シリーズで行う事としました。

乙部町ボランティア研修会を行います

この研修会で、高齢者を理解しお手伝いするためのコツを学びます。

(日程) 第1回目 10月3日(水) 午後1時～5時

第2回目 10月17日(水) 〃

第3回目 10月31日(水) 〃

(会場) 生きがい交流センター

(内容) 広報おとべ今月号にチラシが折り込みになっています。

お達者健診実施中です

65歳以上の方へ介護予防のための問診を郵送で送っています。

9月は滝瀬方面の方に郵送します。届きましたら記入され返送をお願いします。

お問い合わせ

乙部町地域包括支援センター (ケアセンターおとべ)

☎ 62-5845



9月のカレンダー



日	月	火	水	木	金	土
8/26	8/27	8/28	8/29	8/30	8/31	1
2 休日当番医 半澤医院 昆虫採集教室 (町館 午前9時～)	3	4 ヒブワクチン予防接種 (国保 午後1時～)	5 特定健診 (町館 午前6時～)	6 特定健診 (ゆ里 午前6時～) 特定健診 (栄ふ 午前8時～) お達者びんしゃん教室 (ケア 午前10時～) ウォーキング講座 (講習会あり) (町体 午後5時30分～)	7	8
9 休日当番医 道立江差病院	10	11	12 おたっしや体操教室 (ゆ里 午後1時30分～) びよびよ広場 (町体 午前10時～) 麻しん風しん予防接種 (1歳児対象) (国保 午後1時～) BCG 予防接種 (国保 午後1時30分～) 榆山園地障害者総合相談支援 めい巡回相談 (ケア 午前10時～)	13 第3回町議会定例会 (乙役 午前10時～) リハビリ特診 (国保 午後1時30分～) サロン「はなとよ」 (豊セ 午後1時～) 赤ちゃん相談・赤ちゃん健診 (ケア 午後1時～)	14 健康相談 (千研 正午～)	15
16 休日当番医 乙部町国保病院	17 休日当番医 厚沢部町国保病院	18 健康相談 (ゆ里 午後1時30分～)	19 びよびよ広場・ ひよこサークル合同 (消セ 午前10時～) ふれあいサロン (姫ふ 午後1時30分～)	20 お達者びんしゃん教室 (ケア 午前10時～)	21	22 休日当番医 道立江差病院
23 休日当番医 佐々木病院 縁桂森林フェスティバル (縁桂 午前10時～)	24 ミニひよこサークル・MAMA FIT (交流 午前10時～)	25 こころの健康相談 (江保 午後3時～) 肺炎球菌ワクチン 予防接種 (国保 午後1時～)	26 1歳6か月、3歳児健診 (交流 午後1時～) おたっしや体操教室 (元交 午後1時30分～)	27 リハビリ特診 (国保 午後1時30分～) 献血 (午前10時～)	28 男のためのお達者教室(体操) (ケア 午後1時30分～) 健康相談 (三愛 午前9時～) 健康相談 (三研 午前9時40分～)	29 すくすく広場 (つ保 午前9時30分～)
30 休日当番医 上ノ国診療所 公民館講座「おとべ学」 秋の植物編見学会 (乙公 午前9時30分～)	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6

会場・場所略称

(つ保) つくし保育園

(国保) 国保病院

(町体) 町民体育館

(ケア) ケアセンターおとべ

(千研) 千岱野研修会館

(町館) 町民会館

(交流) 生きがい交流センター

(ゆ里) ゆりの里活性化センター

(江保) 江差保健所

(三愛) 三ツ谷愛郷会館

(三研) 三ツ谷研修会館

(豊セ) とよはま地区センター

(元交) 元和交遊館

(栄ふ) 栄ふふれあいセンター

(消セ) 消防コミュニティセンター

(縁桂) 縁桂森林公園

(乙公) 公民館

教育委員会だより

第270号

朝から皆で健康づくり

～NHK全国ラジオ生放送ラジオ体操会～

七月二十六日、町民グラウンドにおいて「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」が開催され、夏休みの初日を迎えた小中学生を始め、町内外から千人を超える参加者が集まり、朝からラジオ体操を通じた健康づくりを実践しました。NHK全国ラジオ生放送のラジオ体操会は、昭和五十五年に開催されて以来で、参加者の中には三十二年前の



元気に体操「いち・に・さん!!」

ラジオ体操会の思い出を懐かしそうに話す人もおり、ラジオ体操を通して爽やかな汗を流すことができました。また、引き続き実施したラジオ体操講習会では、体操指導の多胡肇先生とピアノ奏者の加藤由美子先生を講師に、ラジオ体操の動きの意味と効果的な体操方法についてじっくりと学ぶことができ、大変素晴らしいラジオ体操会となりました。



ラジオ体操講習会も実施しました

第二十二回乙部町 児童生徒水泳競技大会

七月二十三日、町民プールにおいて児童生徒水泳競技大会が開催され、出場選手が日頃の練習成果を発揮しました。当日は、大会新記録が団体一種目、個人七種目で誕生し、会場に歓声が上がりました。結果は次の通り。(各一位のみ)

【男子】		
十五メートル板		
小一 石山 壮太	22秒	38
小二 佐々木悠椰	24秒	11
二十五メートル板		
小三 井田 樹	26秒	21
二十五メートル平泳ぎ		
小四 能代 一太	32秒	39
小五 小林 亮太	25秒	20
小六 松原 海里	20秒	90
五十メートル平泳ぎ		
中一 荒木 祥経	49秒	24
中二 荒木 泰樹	47秒	19
二十五メートル背泳ぎ		
小四 能代 一太	35秒	43
小五 小林 亮太	22秒	44
小六 松原 海里	18秒	32
五十メートル背泳ぎ		
中一 荒木 祥経	50秒	30
中二 荒木 泰樹	42秒	39
二十五メートルバタフライ		
小全 松原 海里	18秒	52
中全 荒木 泰樹	16秒	77
二十五メートル自由形		
小三 井田 樹	25秒	08
小四 能代 一太	24秒	63
小五 小林 亮太	18秒	63

【女子】		
十五メートル板		
小一 矢口 麻湖	25秒	27
小二 寺島 愛	22秒	68
二十五メートル板		
小三 佐々木真生	29秒	51
小四 西村 芽依	28秒	73
小五 伊藤さくら	27秒	76
小六 早川 幸歩	27秒	70
五十メートル平泳ぎ		
中一 奥村 愛香	53秒	65



最後まで頑張って泳ぎました

【男女混合】		
百五十メートル新三種混合リレー		
小全 乙部小A	3分22秒	73
百メートルフリーリレー		
中全 乙部中	1分09秒	91
小全 乙部小	1分38秒	60
中全 乙部中	1分15秒	59
五十メートル自由形		
中一 久末 奈実	42秒	31
中二 八木 静楓	35秒	71
中三 松原 雛海	32秒	17
二十五メートル自由形		
小三 西村 郁美	30秒	08
小四 西村 芽依	21秒	48
小五 伊藤さくら	20秒	10
小六 丸谷 優依	22秒	57
五十メートル背泳ぎ		
中一 紺野 優佳	48秒	87
中二 八木 静楓	38秒	17
中三 松原 雛海	34秒	18
二十五メートルバタフライ		
小全 西村 芽依	25秒	61
中全 松原 雛海	15秒	31
五十メートル背泳ぎ		
中一 紺野 優佳	48秒	87
中二 八木 静楓	38秒	17
中三 松原 雛海	34秒	18
二十メートル自由形		
小全 西村 芽依	25秒	61
中全 松原 雛海	15秒	31
二十メートル自由形		
小三 西村 郁美	30秒	08
小四 西村 芽依	21秒	48
小五 伊藤さくら	20秒	10
小六 丸谷 優依	22秒	57
二十メートル自由形		
中一 久末 奈実	42秒	31
中二 八木 静楓	35秒	71
中三 松原 雛海	32秒	17



勢い良く飛込む選手

二十歳の門出を祝福 乙部町成人のつどい

八月十四日、町民会館において成人のつどいが開催され、町内在住者のほか、帰省者を合わせた三十五名の新成人の門出を祝福しました。式典に先立ち、郷土の素晴らしさを再認識してもらおうと実施した町内視察では、ナマコの養殖やブロッコリーの契約栽培など、先進的に取り組む産業の様子を視察した後、母校の中学校を訪問しました。

その後の式典では、寺島町長をはじめ、議会議員や自治会長などの関係者が臨席し、寺島町長と阿部議



誓いのことばを述べる新成人



久しぶりの再会に会話が弾みました

議長から「ふる里を愛し、情熱と英知を持って人生を切り拓いて下さい。」と、それぞれ激励の言葉を頂きました。また、新成人を代表して、三上祥人さんと麓和貴子さんが「強い意志と決意を持って努力します。」と誓いのことばを述べました。

式典後の交歓会では、中学校時代の恩師からビデオレターやメッセージが寄せられ、久しぶりに集まる友人達との会話が盛り上がりを見せていました。

体力づくりに ウォーキング

七月十九日、とよはま地区センターを会場にウォーキング講習会を開催しました。毎月、各地区で開催しているウォーキング講座に加え、この日は函館市からスポーツインストラクターを招き、体力づくりに効果的な歩き方や、一日に必要な運動量などについて学んだ後、ウォーキングを実践しました。

参加者は、普段より強度のある歩き方で、いつもよりたくさん汗をかいている様でした。



効果的な歩き方を学びました

スポーツフェスタ開幕

今年も檜山管内スポーツフェスタが開幕しました。スポーツ交流を目的に管内各町で九種目の大会が開催されます。

【デートボール競技の部】

七月十九日（上ノ国町）
第三位 乙部町ゆりチーム

～ 図書室の新刊おすすめ紹介 ～

【一般向け】

- ナベトロ (今野 敏)
- ロスジェネの逆襲 (池井戸 潤)
- 骸骨を乞う (雪乃 紗衣)
- ユリゴコロ (沼田まほかる)
- ラグジュアリーな恋人 (日向 唯希)
- 悩むが花 (伊集院 静)
- 消費税は民意を問うべし (小室 直樹)
- いい言葉が、心を掃除する (ひろ さちえ)
- 「国の借金」アッと驚く新常識 (廣宮 孝信)
- 認知症は水で治る！ (田原総一郎)
- 太らないおやつ、きれいになるデザート (松尾みゆき)

【幼児・児童向け】

- テーブルマナーの絵本 (高野 紀子)
- ちょっとだけタイムスリップ (花田 鳩子)
- ひみつの図鑑 (学研)
- ぐんぐんのびる東京スカイツリー (青山 邦彦)
- おしおのぼうけん (ふるた たるひ)
- まわるおすし (長谷川 義史)
- だれ～だ？ (ふじわら こういち)
- ペんちゃんのかきごおり (おおい じゅんこ)
- 動物と話せる少女リリアーネ3～5 (タニヤ・シュテプナー)

皆さまのご来室をお待ちしています！

『通学路の安全確保に向けた合同点検を実施しました』

教育委員会では、全国各地で登校中の児童等が犠牲となる痛ましい交通事故が相次いで発生したことから、通学路の安全確保に関する調査を行い、7月17日に滝瀬・元町間の通学路合同点検を実施しました。

合同点検は、開発局や警察、自治会、小学校、PTAなどの関係機関と連携して実施し、風が強く児童が飛ばされそうになった事例や、自動車事故も発生している現状について協議した結果、安全確保に向けた対策が必要であると確認され、道路管理者である開発局へ手すりやガードレールの設置などについて改めて要望しました。

教育委員会では、これからも通学路の安全確保に向けて努めてまいりますので、皆さまも通学中の子ども達への目配りや自動車の安全運転などのご協力をお願いします。



通学路合同点検の様子

人材開発センター 9月実施事業

○フラダンス教室

※ハワイアンリズムによるフラダンスで運動不足とストレス解消をしませんか。

日 程 9月8日(土)・15日(土)・29日(土)
 時 間 13:00~15:00
 定 員 20名
 受 講 料 1,000円
 申込締切 実施日の前日まで

○ヨガ教室

※呼吸法を用いて全身を動かし、運動不足とストレス解消。

日 程 9月8日(土)・15日(土)・29日(土)
 時 間 10:00~12:00
 定 員 10名
 受 講 料 1,500円
 申込締切 実施日の前日まで

○社交ダンス教室

※初心者から経験者まで気軽にダンスが楽しめます。

日 程 9月9日(日)・23日(日)
 時 間 13:00~16:00
 定 員 10名
 受 講 料 2,000円
 申込締切 各実施日前の金曜日まで

【職業講習のご案内】

○刈払機取扱作業安全衛生教育

日 程 9月14日(金) 1日6時間
 時 間 9:00~16:00(昼休1時間) ※1日間受講して講習終了となります。
 定 員 30名
 受 講 料 一般:5,000円 会員:4,000円
 申込締切 9月7日(木)まで
 内 容 等 刈払機取扱作業に対する安全衛生教育です。

問い合わせ・申込: 松山地域人材開発センター運営協議会 “まなびっく” 電話 52-0160



お知らせ

運転免許証の更新 お済みですか

九月の運転免許更新時講習の日程は、次のとおりです。

▽9月6日(木)

江差町文化会館 小ホール

優良運転者講習 午後1時

違反運転者講習 午後1時45分

▽9月25日(火)

江差町文化会館 小ホール

優良運転者講習 午後1時

一般運転者講習 午後1時45分

初回運転者講習 午後3時

清掃センターからのお知らせ

近頃、ごみ収集中の作業員が、ごみ箱内に巣を作ったハチに刺される事故が各町で発生しております。

今後、秋にかけてハチの巣作りで数が増えることが予想され、状況によっては重大な事故を招くおそれもあります。

特に木製で密閉性の高いごみ箱を設置されているご家庭では、ハチが巣を作ることのないよう注意していただくとともに、可能であればごみ箱の側面を金網等に替えるなど安全対策にも配慮していただきますようお願いいたします。

男のお達者体操教室 (第3回)

今年3回目のお知らせになります、スポーツの秋ですね!この機会に体力づくりをはじめませんか?

日 時 9月28日(水) 午後1:30~3:00

場 所 ケアセンターおとべ(乙部国保病院手前)

講 師 高橋理学療法士

乙部町地域包括支援センター 62-5845 (担当 町中)

国民年金保険料の納め忘れはありませんか

国民年金は、老後の生活や障害、死亡などもしもの時にあなたの大きな支えとなります。保険料の納め忘れが続くと、将来の年金を受け取ることができなくなるばかりか、障害年金や遺族年金を受け取れない場合があります。

もしもの時に後悔することのないよう、保険料はきちんと納期内に納めましょう!(納期は翌月末です。納期から2年を経過すると時効により取められなくなります。)

国民年金保険料の納付が困難なときは

国民年金には、保険料納付が免除される制度や猶予される制度があります。

納付が困難な方は役場の年金係で手続きを行ってください。

納付が困難なときは	30歳未満の方は	学生の方は
保険料免除制度	若年者納付猶予制度	学生納付特例制度
本人・世帯主・配偶者の前年所得(1月から6月までに申請される場合は前々年所得)が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が全額免除または一部納付(3/4、1/2、1/4)になります。	30歳未満の方で本人・配偶者の前年所得(1月から6月までに申請される場合は前々年所得)が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が猶予されます。	学生の方で本人の前年所得(1月から3月までに申請される場合は前々年所得)が一定額以下の場合には、申請により保険料の納付が猶予されます。

保険料免除などの承認された期間(多段階免除承認期間において一部納付がない期間は除かれます。)は、老後に年金を受け取るための資格期間に含まれるだけでなく、万一の時に、障害基礎年金や遺族基礎年金を受け取る資格期間にも含まれます。

また、失業された方は、離職票や雇用保険受給資格者証等を添付すれば、前年の所得に関係なく免除される特例もあります。

☆お問い合わせは・・・役場町民課年金係(電話 62-2311) ☆

平成 25 年度檜山広域行政組合消防職員採用試験実施要項

1. 採用する職種及び消防署、予定人員及び受験資格等と試験項目

(1) 職種及び消防署、採用予定人員並びに資格

条件等	職 種	一 般 消 防 士	救 急 救 命 士
採用予定消防署		奥尻消防署 1名 乙部消防署 1名 (※乙部消防署は、一般消防士又は救急救命士を1名採用予定)	今金消防署 1名 せたな消防署 2名
年 齢 条 件 (消防署により年齢条件に、違いがあります。)	【奥尻消防署】	平成元年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方	
	【今金消防署】 【せたな消防署】	平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方	
	【乙部消防署】	【一般消防士】 昭和63年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方 【救急救命士】 昭和63年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方	
資 格 要 件		○普通自動車第1種免許取得者若しくは取得見込者 ○救急救命士受験の方は、免許取得者若しくは平成25年5月までに取得見込みの方	
身 体 的 条 件		○おおむね身長165cm以上、体重52kg以上 ○視力両眼(矯正視力を含む)で0.7以上かつ一眼でそれぞれ0.3以上、色覚正常で心身健全な方。	

(2) 採用予定年月日 ①一般消防士：平成25年4月1日 ②救急救命士：平成25年5月1日 (免許取得者は4/1採用予定)

2. 試 験 日 程 (1) 試験日：平成24年10月20日(土) (2) 会 場：江差町文化会館(江差町字茂尻71)

試験区分	職 種	試験時間	一 般 消 防 士	救 急 救 命 士
一 次 試 験	教養試験	9:00～11:00 【2時間(40問)】	○生年月日により受ける問題が異なります ・高校卒業程度：平成3年4月2日以降に生まれた方 ・大学卒業程度：平成3年4月1日以前に生まれた方	
	作文試験	1:10～12:10【1時間】	一般消防士、救命士とも同一課題	同 左
二 次 試 験		(一次試験合格者) 面接試験・体力試験 【※採用予定消防署において実施します(日程は別途連絡)】		同 左

3. 募 集 期 間 平成24年9月10日(月)～平成24年10月2日(火) 午後5時15分まで

4. 申 込 先 ・ 方 法 ○申込先 (1) 檜山広域行政組合消防本部 52-3026 (2) 乙部消防署 62-2114

○申込方法 (1) 申込先の檜山広域行政組合消防本部及び各消防署(支署)に備付の「申込書」及び「受験票」に必要事項を記入の上、写真を貼付し、申込先に期日までに提出して下さい。(※郵送の場合は10月2日【火】までの消印のあるものを有効とします。)

(2) 申込書は檜山広域行政組合のホームページからもダウンロードできます。【URL: www.hiyama.or.jp】

※受験票を返送しますので、返信用の封筒(長形4号に80円切手を貼って、郵便番号・住所・氏名を記入したもの)を同封して提出して下さい。

5. その他

(1) 試験会場には30分前までにお集まり下さい。(2) 受験票は受験番号を記入し、返信封筒にて送付しますので、試験当日に持参して下さい。

(3) 一次試験の終了予定時間は、12時10分です。(昼食の準備は必要ありません。)(4) 試験実施に関する問合せ先

檜山広域行政組合消防本部庶務課庶務係 (電話0139-52-3026) (平日の午前8時30分～午後5時15分)

道立江差病院からお知らせ

外来診療体制

9月の診療予定です

循環器内科	午前 月～金曜日 午後 月～金曜日
消化器内科	午前 月～金曜日 午後 火・水曜日
呼吸器内科	午前 金曜日 午後 木曜日
外 科	午前 月～金曜日
整形外科	午前 月～金曜日
小児科	午前 月～金曜日
泌尿器科	午前 月～金曜日 午後 水曜日
神経精神科	午前 月～金曜日 午後 月曜日
産婦人科	午前 月～金曜日
耳鼻咽喉科	午前 13日・27日 午後 12日・28日
眼 科	午前 木曜日 午後 5日・19日・26日
皮膚科	午前 火曜日
神経内科	21日

診療日は予定であり変更になる場合もあります。
事前に病院にご確認の上、受診してください。

受付時間 午前・・・8時00分～11時30分

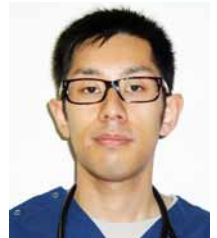
(初診の方は、9時00分～)

午後・・・13時00分～14時30分

新任医師紹介(7月から変わりました)

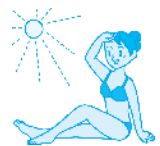
消化器内科：田邊谷 徹也医師

7月から消化器科で診療させていただきます田邊谷徹也です。前任地は札幌医科大学附属病院の第一内科です。道立病院には出張医として何度も来させていたれておりましたので、お会いしたことがあるスタッフの方も多くいらっしゃるのですが、安心して赴任させていただきます。医者5年目を迎えますが、まだまだ若輩の身です。診療にあたっては慎重に幅広く対応させていただきますと思います。江差町の夏はとりわけ活気溢れる時期と伺っておりますので、町全体からパワーをもらいながら仕事に励んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



熱中症について2

対処法は、すぐに運動を中止して、木陰などの涼しい場所に移動し、扇風機や団扇などで風を送ってあげ、十分な水分補給をします。意識がおかしくなるような重症の場合は直ちに病院へ運んで下さい。軽い症状から重い症状へと症状が進行することもあります。きわめて短時間で急速に重症となることもあります。熱中症で命を落とすこともありますから侮ってはいけません。十分にその危険性を認識しておくことが必要です。熱中症は、『慢性』では克服できないので決して無理をしない、させないようにしましょう。屋内で過ごしていても熱中症が起こる可能性があります。ゆっくりと進行するため自覚しにくいといいますが、水分補給がポイントです。



看護職員募集のお知らせ

看護職員を募集しております。詳しくは、総看護師長まで、電話52-0036(内線202) 監査(あいはら) (離職した方でも、正職員として再就職可能です。)

乙部町の年間行事 心を込めてプレゼント

東京おとべ会（菊池優輝夫会長・会員三百九十七人）とさっぽろ乙部会（渡辺鶴雄会長・会員三百七十八人）が八月十四日、共同で特別養護老人ホームおとべ荘にタオルを寄贈しました。

当日は、さっぽろ乙部会の渡辺鶴雄会長と、東京おとべ会櫻井文夫事務局長、羽原純一事務局次長がおとべ荘を訪問し、お年寄りに直接プレゼントを手渡し「元気に長生きしてくださいね」と話しかけていました。

おとべ荘の野崎施設長は「おとべ荘は開設してから三十二年。この間、地域の方やふるさと会の皆様に支えていただいで感謝しています。」と話していました。

また、東京おとべ会では会員の方からの寄付金で、毎年ケアセンター前の花壇に花いっぱい運動として花の苗を寄贈していただいでいますし、盆おどり・花火大会にも、寄付をしていただいでいます。ふるさと会の方々の故郷を

永遠の 平和を願って

乙部町戦没者慰霊祭が八月一日、宮の森公園忠魂碑前でしめやかに行われました。

当日は、遺族や関係者約七十人が参列し、戦没者へ深く哀悼の意を表していました。式では、戦没者の氏名が奉読された後、甲谷弘之実行委員長らの式辞、寺島町長を初めとする来賓から追悼の辞が述べられ、参列者全員で忠魂碑



献花する参列者

に献花し、戦地で命を落とした方々に平和を誓っていました。

○献血にご協力下さい○

9月27日(木)、移動献血車「ひまわり号」が来町いたします。現在の全国的な血液不足の状況をふまえ、一人でも多くの方々のご協力をお願いいたします。

日時 9月27(木)

時間	場所
10:00~12:00	役場横駐車場
13:15~13:45	乙部町民体育館前駐車場
14:00~15:00	消防署前駐車場
15:15~15:45	ひやま漁業協同組合前
16:00~17:00	ケアセンターおとべ前

※当日の状況により、各会場への到着時間が、多少遅れる場合があります。



会長らがおとべ荘を訪問

思う気持ちほとても暖かいもので、たくさんの方々の元気を乙部町に与えていただいています。

よろこび

かなしみ

7月15日～8月14日



こんにちは

よろしくね

田中 咲美ちゃん(薙 美・女の子緑町)
阿曾 陽向くん(裕之・男の子緑町)

おくやみ

もうし上げます



梅川市次郎さん(93歳)館浦
山口 義人さん(80歳)花磯
櫻井 禮子さん(85歳)花磯
櫻井 ミワさん(104歳)豊浜

ごげっこん

おめでとう



村上 淳 一さん(二町町)
浅間 こずえさん(姫川)

※この欄に掲載を希望しない方は、届出の際窓口へお申し出ください。

町の人口

= 7月末現在 =

世帯数	1,971 (-5) (-14)
人口	4,292 (-13) (-30)
男	1,968 (-5) (-18)
女	2,324 (-8) (-12)

() 内は前月との比較増減
() 内は3月末からの累計増減

編集後記

八月は立て続けにイベントやお祭があつて、すっかり疲れてしまった人も多いのではないのでしょうか。

昼夜の気温差が大きくなり、体調を崩しやすい季節に入りますので、お体にはご注意ください。

さて、八月十八日発行の日本経済新聞に折り込まれている「N I K K E I プラス」の「何でもランキング訪ねたい神秘的な巨樹」のコーナーで、縁桂が堂々の全国二位に選ばれました。

鹿児島県屋久島の縄文杉に次いでのもので、全国的に最も有名な巨樹に肩を並べたと言えます。

九月二十三日には縁桂森林フェスティバルが開催されます。ぜひ身近にある素晴らしい巨樹の姿を見に行きましょう。

広報 おとべ

平成24年9月1日発行(第517号)
編集・発行 乙部町総務課企画係
〒043-0103 北海道乙部町字緑町388
(TEL) 0139-62-2311 (FAX) 0139-62-2939
ホームページ <http://www.town.otobe.lg.jp>



間伐で未来につなぐ北の森
この用紙は、原材料の一部に道産間伐材を使用しております。

9月は国民健康保険税・固定資産税第3期の納期限です。